



2020年1月29日

各 位

会社名 アストマックス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 本多 弘明  
 (JASDAQスタンダード・コード7162)  
 問合せ先 常務取締役 小幡 健太郎  
 電話 03-5447-8400

### 2020年3月期第3四半期連結業績速報値と2019年3月期第3四半期連結業績との 差異に関するお知らせ

2020年3月期第3四半期の連結業績は、2020年1月31日（金）に開示の予定ですが、決算の概要がまとまりましたので、下記のとおり速報値としてお知らせいたします。なお、速報値につきましては、現時点で当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は速報値と異なる可能性があります。

この結果を受け、2020年3月期第3四半期（2019年4月1日～2019年12月31日）と2019年3月期第3四半期（2018年4月1日～2018年12月31日）の業績に差異が見込まれますのでお知らせいたします。各セグメントの概要説明は、31日に開示する2020年3月期第3四半期決算短信にてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2020年3月期第3四半期連結業績と2019年3月期第3四半期連結業績との差異

単位：百万円	2019年3月期 第3四半期 連結累計期間	2020年3月期 第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)	増減の主要因ほか
営業収益	7,807	8,639	831	10.7	①ASTAM社の非連結化（△1,413） ②ディーリング事業（△72） ③再生可能エネルギー関連事業の製品売上高（+987） ④電力取引の増加（+1,280）
営業費用	7,699	8,711	1,012	13.2	①ASTAM社の非連結化 ②再生可能エネルギー関連事業の製品売上原価（+934） ③電力取引の増加（+1,194） ④ガス事業の先行投資
営業利益	108	△72	△180	-	①ASTAM社の非連結化 ②当該非連結化に関連する当社のコスト負担割合の増加
経常利益	90	△56	△146	-	売却目的で保有している太陽光発電設備の売電収入及び減価償却費の増加
特別利益	144	1,014	870	601.4	①ASTAM社株式の一部を追加譲渡（+944） ②東京商品取引所の株式TOB買取（+68）
特別損失	18	22	4	23.0	
税金等調整前 四半期純利益	216	935	718	331.7	
法人税等合計	93	325	231	247.9	
非支配株主に帰属 する四半期純利益	51	5	△46	△89.7	ASTAM社の非連結化
親会社株主に帰属 する四半期純利益	71	605	533	748.5	

※「法人税等合計」には、「法人税、住民税及び事業税」と「法人税等調整額」を含みます。

※「ASTAM社」はアストマックス投信投資顧問株式会社を表します。

2. 2020年3月期第3四半期セグメント別業績速報値

単位：百万円		2019年3月期 第3四半期 連結累計期間	2020年3月期 第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
アセット・マネジメント事業	営業収益	1,489	75	△1,413	△94.9
	セグメント損益	135	△3	△139	-
ディーリング事業	営業収益	370	298	△72	△19.5
	セグメント損益	11	△22	△34	-
再生可能エネルギー関連事業	営業収益	448	1,436	988	220.4
	セグメント損益	24	63	38	152.6
電力取引関連事業	営業収益	5,487	6,746	1,259	22.9
	セグメント損益	△54	14	69	-
その他 (※1)	営業収益	22	92	70	312.7
	セグメント損益	△22	△24	△2	-
調整額 (※2)	営業収益	△11	△11	0	-
	セグメント損益	△4	△82	△78	-
四半期連結財務諸表計上額	営業収益	7,807	8,639	831	10.7
	セグメント損益	90	△56	△146	-

- ※1 「その他」は、地方創生事業など、現時点で事業セグメント化されていない事業を示しています。
- ※2 当第3四半期連結累計期間においては、ASTAM社の非連結化等に伴い、持株会社である当社のコスト負担割合が増加し、「調整額」のマイナスが増加しています。
- ※ セグメント利益又は損失は当第3四半期連結累計期間の経常損益と調整を行っており、連結会社間の内部取引消去等の調整額が含まれております。

以上